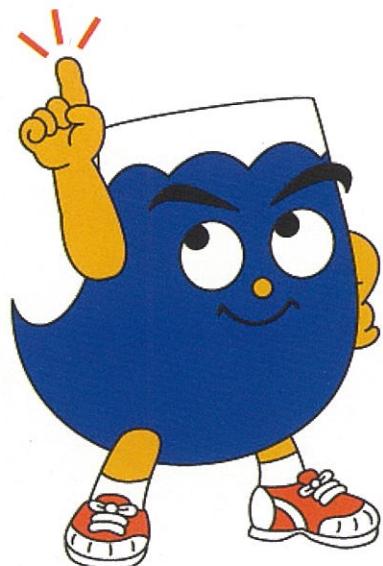


平成 23 年度

元気な企業

実態調査報告書 V



平成 24 年 2 月

商工業局



5S・改善の徹底で進化し続ける会社

タカラ産業株式会社

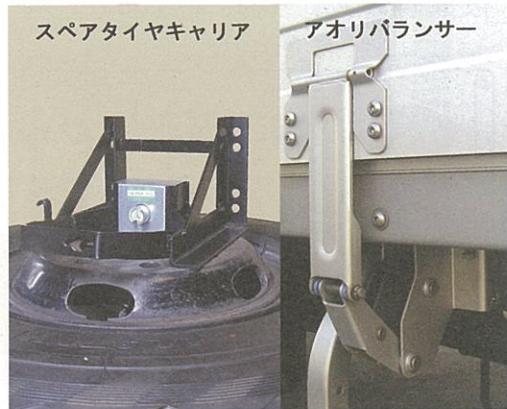
所在地 富士市五貫島1318番地
 代表者名 渡邊 哲史
 創業 昭和38年8月
 資本金 34,094千円
 従業員数 42人
 主要製品 トラック・バス部品（スペアタイヤ保持器、
 アオリ開閉補助装置、回転式中間支柱、
 ドアはね上げ装置）、カチオン電着塗装
 電話 0545-61-5500
 FAX 0545-61-7359
 URL <http://www.takara-co.com>



強く美しくユーザーに優しい製品が豊富

富士山のふもと、富士金属工業団地内に立地するタカラ産業株式会社は、現社長渡邊哲史氏の実父である渡邊芳男氏が、トラック・バス用のスペアタイヤ保持器（スペアタイヤキャリア）を製造する中央製機有限会社の販売部門として、昭和38年8月に創業した会社である。その後、平成22年1月に現社長のもとで両社は合併し、新生「タカラ産業株式会社」として営業を開始した。

同社は、顧客のニーズに合った製品を設計から生産、販売まで一貫体制で行うことをモットーに、独自の遊星ギヤ方式による変速機構を用いてトラックの重いタイヤを軽く巻き上げてブラケットに固定する「スペアタイヤキャリア」をはじめ、圧縮スプリングの反発力を利用して重いアオリ戸の開閉を軽くする「アオリバランサー」やドアを跳ね上げる「パネルバランサー」など、車体部品としては脇役的な機能であるものの、ユーザーの肉体的負担を軽減し、荷物の積み下ろし作業を効率化する重要な部品をメーカーに提供している。また、これらの製品は鋳に強く美しい研磨や密着性の高い「カチオン電着塗装」が施され、見た目にこだわる日本のトラック野郎をはじめ、世界中のユーザーが満足できる完成度の高いものとなっている。



▲同社の主要製品であるスペアタイヤキャリアとアオリバランサー

異業種連携や販路開拓を積極的に展開

豊富な自社製品を揃え、国内大手トラック・バスメーカーのほとんどを販売先として成長を続けてきた同社であるが、リーマンショック以降の景気悪化でトラックの需要が激減した上、ここ10年間ほどで原材料である鉄鋼の価額がおよそ2倍に高騰しており、たゆまない経営努力によって大幅なコストダウンを達成してきたものの、他社との競争激化と厳しい経営環境が続いている。

このような状況下、同社は産・学・官の交流などを通じ、開発ネタや新事業のヒント探し、販路開拓のきっかけづくり等に意欲的に取り組んでいる。

現在27社で構成される異業種交流会「静岡県開発型企業研究会」においては、渡邊社長が平成22年度の会長、今年度は相談役に就任し当研究会をリードしているほか、富士商工会議所主催のビジネス交流会「知恵の輪」への参加等を通じ、新事業展開や販路開拓に向けた情報収集や連携強化を積極的に行っている。

現在、県内では取り扱う企業が少ない「カチオン電着塗装」の園芸用品や車・バイクなど趣味の分野への活用や、インターネットやフェイスブック等を活用した新たな販路開拓手法等を研究中である。



▲カチオン電着塗装設備と製品サンプル

5S・改善の徹底、他社の取組も応援

渡邊社長の就任以来、最も力を注いできたのが5Sを中心とした改善活動の推進である。5Sとは、ローマ字の頭文字がSとなる整理、整頓、清掃、清潔、しつけのことで、職場環境の美化や従業員のモラル向上などが期待される業務管理上のスローガンである。

就業中にも拘わらず多くの時間を割き、従業員のビデオ勉強会・改善活動・5S活動等を定期的に行い、社長自ら常々



▲5S・改善の一例

「良いことはドンドンやろう、パクろう」と言い続けてきた結果、今ではその意識が従業員に完全浸透し、年間700～800件の改善提案（内7割くらいが実施済）があり、これは毎日会社の2～3箇所が進化していることとなる。

また、従業員にとって自分たちの力で職場を変革し、会社の役に立っていると実感できることで、会社への愛情や仕事のモチベーションが格段に向上し、近年の新入社員定着率もほぼ100%といいことづくめである。

今では同社の成功経験を活かし、中小企業の5S・改善導入の取組を支援する「5S・改善はじめ隊応援組」が同社業務のひとつとなっている。

（文責：商工振興課）